

ASIA to JAPANが日本と所縁あるトップレベルの理系大学 キングモンクット工科大学ラートクラバン校とMOUを締結

8月より日本語学習プログラムの単独講座を開始

海外の主要大学内での日本語学習などを通じ、日本への就職のきっかけを学生に提供する株式会社ASIA to JAPAN（代表:三瓶 雅人 本社：東京都台東区 以下：ASIA to JAPAN）は、タイの理系大学「キングモンクット工科大学ラートクラバン校（以下：KMITL）」と新たにMOUを締結することが決まりました。

これまでKMITLとは工学部と提携しており、長きにわたりタイの理系大学生の日本語育成において互いに協力関係にありました。今回、当時工学部の学部長であったコムサン准教授が学長に就任し「日本就職のきっかけを工学部だけでなく大学全体にもたらしたい」という思いから新たに大学全体としてMOUを結びました。

タイでは国内大学全体を対象としたオンライン講座「All Thai」を開講しており、KMITLも同講座に加わっておりました。しかし今回の締結をもって同講座から独立し、新たにKMITL向けの日本語学習プログラムを8月より開始することが決まりました。理系学生向けに募集を始めており、既に80名以上の応募をいただいています。締切までまだ日数があり応募数はさらに増加することが予想されます。

ASIA to JAPANではアジアを中心に9カ国1地域にあるトップクラスの大学36校において、外国人理系学生の日本語話者育成を目的とした日本語学習プログラムを無料開講し、“日本就職のきっかけ作り”に努めています。今回MOUを締結したKMITLにおいても、日本就職の一助となるよう、今まで以上に日本語レベルの高い理系学生の育成や輩出に努めてまいります。

※MOU（Memorandum of Understanding）＝合意文書（覚書）



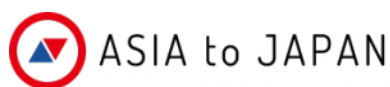
▲ KMITLのコムサン学長（左）と
弊社代表の三瓶（右）



KMITL (King Mongkut's Institute of Technology Ladkrabang)

KMITLは日本政府の技術支援を受け、前身である電気通信訓練センターとして1960年にノンタブリー県に設立され、4年後に大学へと変更された国立大学です。国内初の電気工学分野の博士課程を開設しており、タイの科学技術分野の主要大学の1つとして認められているタイ最大の工学大学です。また卒業生の就職率は90%以上と「専門的かつ実践的なエンジニア」を毎年輩出しています。

会社概要



- 会社名 : 株式会社ASIA to JAPAN
(<https://asiatojapan.com/>)
- 本社所在地 : 〒110-0016 東京都台東区台東3-15-3
MARK SQUARE 御徒町8F
- 代表取締役 : 三瓶雅人
- 設立 : 2017年2月
- 事業内容 : アジアトップクラスの外国人学生の採用支援事業など
- オフィス : インド オフィス :
AtoJ Labs India Pvt. Ltd.
シンガポール オフィス :
ASIA to JAPAN (SINGAPORE) PTE. LTD.

本件に関する報道関係者・企業様からのお問い合わせ先

「ASIA to JAPAN」担当：赤羽根、佐野、宮村（03-5834-3403）

E-mail : info@asiatojapan.com